
Everything becomes a dream....

あざらし

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Everything becomes a dream

【コード】

N5805Y

【作者名】

あぞらし

【あらすじ】

とりあえず書いてみました…

感想いただけると嬉しいです

E v e r y t h i n g b e c o m e s a d r e a m (前書き)

この前、E v e r y t h i n g b e c o m e s a d r e a m

という名前で短編としていていてしまい……

これは続きます。

中2の低レベルな英語ですみません。

大幅に編集しました

Everything becomes a dream

ふわりと舞い上がり
君想う

空は青く透き通って
風を切る音が心地よい
まだ夢をみているのかな

頭にこびりついたあのメロディーさえも
今は無視して
そうやって平静保てるように

あんなにそばにいたいと言っていたはずなのに
今君の笑顔は遠いね
手を伸ばしてしまったの
君のぬくもり残るこの手を

過ぎていく時の流れだけが私を動かすよ
今は眺めているだけだから
大切な気持ち失ってしまいそう
ねえ、何処を探しても
君との日々の跡見つからない
置いていってと望んだ…

「日常万事、いつものこと」

そうやって生きてきたよ

明日はたぶん来ないけど
いくつもの季節
忘れられないから今

O n t o n i g h t . . .
I ' l l b e n o t h e r e
S o I ' l l l e a v e t h i s t o w n
E v e r y t h i n g b e c o m e s a d r e a m

E v e r y t h i n g b e c o m e s a d r e a m (後書き)

ありがとうございました。

so just a little!

夕暮れが波を輝かせるよ
1人いるのは寂しいけど
たまには 静かに目を閉じて

you give me support
信じて
everything's all right
きつとね

季節の移りと戯れていよう
今は少し遠いけどね
夢は儂いものだ
大人ぶっててもなにも始まらない

きつと足りないのは少しの勇氣
so just a little
暁がすべてを照らしてく
希望が輝き始める頃

運命にはたくさん悩まされるけど
それもどれも be converted to life
傷ついた昨日
「うつん」確かな明日があるから
時々求めるのをやめても
無くすことはないよ

その時は… Be with you

s o j u s t l i t t l e

朝、いつも通りの自分

負けないようにと

今心にあるのは

s o j u s t l i t t l e

s o j u s t a l i t t l e ! (後書き)

一応応援詩だす。

冬(前書き)

いくらもがいても倉木麻衣や azuki七さんのような詩は書けな
いから、惨めになる笑

冬

白い吐息がなみだをさそう

「今年も寒いね」

2つのウインター・ベルを揺らしながら

今年は聞けなかった君の懐かしい声

蘇える度：

季節ときのたびに遠ざかる

足跡残して

「明日には雪はやんだかな」

そうして消えた

君の灯火あかし

切なさ抱きしめたはずなのに

溢れて止まらないから

また会いたくて…もう一度

踏みしめた

君とおんなじ所

そのままに

てにもつ

2つの愛のかたちは

いっしょに…君が飛びたてますようにと

願ったつもり

切なさ埋めて消えてゆくのを待つて

過ごせなかったら

明日だけは

祈っておくだけにするから

泣いていても溶けてゆくのを待って

過ぎすから

君に届くかな

冬（後書き）

意味不明————

しかし「応」たび「は」「度」と「旅」とでかけたつもりです……

だけどBest friend

急に溢れたものが

大げさに止まらなくて

気がついたら 君を傷つけてた

まるで すべてを失ったみたいに

絶望感に涙したけど

ううん…

何もなかったから…

もともと君なんていなかったみたいだね
なんて

追いかけ合い

強がり合い

心にしまっていた

黒い雲を吐き出して

最後に笑って

なのになんでこんな後味悪いんだ

ああ

嘘発見器みたいにアンテナ伸ばして

もう疲れちゃったみたい

1度疑って

晴れたと思ったらまた溢れてゆくんだね

思想の溝なんて価値観なんて「嫌い」なんて
そうゆうのすべて消しちゃえばいいのに！

なのに、繋がりを絶つことは出来ないみたい

そう知った

昔読んだ

お姫様の fairy tale

今は何だか妙に胸にきて

現実はまだ動き出していないから

もうちょっとだけ頑張ろう…

また2人、歩き出せるのかな

今はまだダメでも

いつかわかる日は来るよね

後悔纏れ、君といつしよに居られなくなる前に

だげどBest friend(後書き)

まとまりなし

Destiny

昨日のサヨナラが胸に響くよ
今はまだ暗すぎるトンネルの中
すぐになんて求めてないし
だけどいつまでもなんてムリ

癒すものにならなくてもなれたのに
例えば君がいなくなったらなんて
勝手に不安になって
本気じゃないって強がるけど
でもやっぱり涙ぐむ

曖昧に並べた言葉が…
心動かす力のなかった言葉が…
夢の中急に優しくなった君のすべてが…
ウラハラ 息を吹き返してゆく

I hid tears every morning
But I want to hear your voice
何よりも…今は
そう本当の

朝日の到来

今日がきたことに
何だか力が抜けてゆくようで

それでも憂鬱な
何かはどこか他の
心の奥深くにあつて
ひたすら君探してゆく

毎日を大切に、なんて誰にだって言えるけど
消えてゆく日々なんて
誰が見ているの？
誰がいるかなんて
想像できないでしょう

意味深な言葉の意味が…
君への纏れた愛が…
夢へと心移せないね…
未だ知らないなにかへと変わっていったなら

R e a d i n e s s t o l o s e
P l e a s e t e a c h i t !
すべてが運命だと

D e s t i n y (後書き)

意味不明 | |

日曜日

布団から抜け出せない朝

久しぶりに

平日とちよつと違う顔のアナウンサー

見るために起き上がった！

君が贈ってくれた季節を眺める

時が経つのが早い気もする

もう少しだけ 神様

一緒にいさせてと願ってみるよ

嫌なこと

今はすべて消し去る勇氣もある

ぐるぐる回って

月火水木金

平静保ち

ポーカーフェイス忘れずに

疲れて土曜日

一番素敵な君は日曜日…

無意味だと思っていた

散歩も

ただあのノラ猫（名前はなんといったっけ？）

探すためだけに

今日を遣う

どこまでも広がる空

吸い込んで

この世の幸せすべて

吐き出せるほどの

量があります

でも同じ気持ちなのは

君だよな？

変わりゆくものたちは

いつかは巡り会える

ぐるぐる回って

月火水木金

ダイエツト

疲れて土曜日

スイーツ欲しさに

日曜日…

昨日はあった

哀しみは遭った

笑顔が合った

君に会えた * : 。 . () () 。 . . . *

「また一緒にいようね、」

「いつそのこと2人で暮らしたいね！」

コールマイネーム
遠くへ君が走ってゆくよ

T u r n a r o u n d .
T u r n a r o u n d .
...

君と私と
繋がりにあっている
確証はここにあるんだ

「来週またね」

今日は魔法マジックに溶けてゆく
ああ、君と溶けてゆきたいね...

日曜日(後書き)

ついに壊れました！

Lost Landscapes

また同じ景色に憧れて
ふらりやってきた場所

願い事届かないうちに
消えてしまった君を
さがして 決して遠くないはずなのに
雨の涙が頬伝う

私たちふたりが
此処にいるのは
少しおこがましすぎたかな
地球の景色は
美しすぎたかな

羽根を持ったものが
飛び立てるようにと
頑張っている人達
なんだかんだ
眩しかったけど

愛したもの

自分の元々ある愛情以上に

私たちふたりが此処にいたのは
戻らぬ何かを引き戻そうとしたためかな
遠く見える地球は
美しすぎたね

哀しみの涙が頬伝う

ああ、小さくなって… Lost Landscapes

Lost Landscapes (後書き)

ダッセー

夏の陽

上昇気流

冷たくなる 白樫の窓から

君に愛されたあの頃 思い出す

伝えられなかったことばかり

今ただ

君想うこと

幼く儂い日々は

すぐに過ぎ去ってしまうけれど

「 A day to forget it sometime
comes」

癒しを求める暇があるなら

愛する勇気を持てるように

空中楼阁…

ふとなびく冷たい風に

新しい季節思い出す

あの夏の日

まだ思い出のアルバムにしまうのは

あまりにも早く 暗く

飾ることなどできない

君とのことだけは

「 But I don't want to forget it
now」

心の中にあるのは君
弱気になる夜に
せめてこの 手をつないで
どこか遠い場所へ
連れて行って

夏の陽（後書き）

暗い。

はじめ応援詩にしようと思ったのに（笑）

思い出の雨

まるですべて流した通り雨
下手な冗談でからかわれ
どっかいけと思っっていたら
本当に次の日私の居ないところへ

残るのは

近く架かる虹と

どこか落ち着かない心の奥

赤く汚れたランドセル

親近感なんてものなくし

みんなと違う色だからと

泣きそうな表情した君に

最後に仕返し

そんな気でいたら

どこからかいい、私に似た匂いに誘われ

迷いの街に

長く続く河に

赤いランドセル探す年上の女の子

この手を掴まれ

君の声が聞こえた気がして

おかしいね、あんなに嫌いだった君のハートが

振り返ると今

愛おしく…愛おしく

思い出したような通り雨に
持ちよった傘に隠れた
それでも 懐かしい驚いたような顔を見せた君

本当はずっと
君がいなくなってからも君を見ていたような
そんな 溢れる想い

抱きしめたら
蘇るあの思い出
明かされた真実の儚さに
涙を隠して
キスをされたの

思い出の雨（後書き）

うーんんんん

むずいねええええええ

これは一応…怖いかなうん。

いつかのヒストリー

衝動嘆く

いつかまだ

始まったばかりなのに
もうやめたくなくなってる

変にヒステリック

あとで涙出て来て

繰り返すうち不安な要素
積み重なってゆくのにね

囚われるなというけれど

やっぱりひとつしかないんだね

確かな道は

今ここにあるよ

辛かったこと

すべて避けては通れないでしょう

何も見えないよ

何もできないから

情熱よ

舞い上がれ

おいていかないで
そのまま鳥になれ

どこまでも

前だけを見て

僕は君のそれを

ただ見ていることしか
できないけれど

心疼く
そんな時は
思い出して
たった一度
一瞬でも
志した あの夢を

もう君は夢から離れられないんだ
そこまできてる

情熱よ
冷やさないで
鳥になつて
追いかけて
ゴールはないんだ
だから どこまでも いけるさ
決して君が
振り返ることのないように
僕はずっと
遠くても見守ってる

いつか心から優しくなれる日がくるから
その時は一緒に僕と そうあの場所へ

いつかのヒストリー（後書き）

ヒストリー…

応援してます（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5805y/>

Everything becomes a dream....

2012年1月10日13時55分発行